



瀬戸内しまなみ海道

今治伯方島トライアスロン

×SDGs

澄み渡る瀬戸内の海を守る

潮風が育んだ塩の文化を受け継ぐ

島に息づくおもてなしの心を紡ぐ

トライアスリートとともに、持続可能な未来を共創する

「挑戦するほどに、世界はやさしくなれる」

Every TRY, a more sustainable world.

SETOUCHI SHIMANAMI KAIDO
IMABARI HAKATAJIMA TRIATHLON

今治伯方島トライアスロンは、大会に関わるすべての活動でSDGsの実現に向けて取り組み、その過程と成果を発信します。
伯方島・今治市の持続可能なまちづくりへの貢献と、大会価値のさらなる向上を目指します。

今治伯方島トライアスロンでの取組

今治伯方島トライアスロンでは6つの項目に対して取り組んでいます。

4 質の高い教育を
みんなに

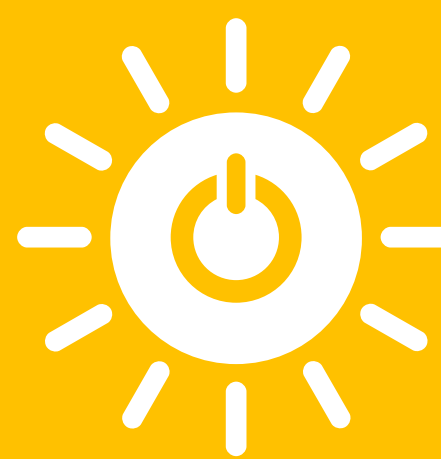


誰もが学び、楽しめる機会を提供
(質の高い教育をみんなに)

アスリートによる学校訪問や初心者向け説明会、リレー形式の競技導入など、年齢・性別に関わらず誰もが安心して学び楽しめる環境を提供します。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ニューモビリティの活用
(エネルギーをみんなにそしてクリーンに)

今治市は「ゼロカーボンシティ宣言」のもと、地域ぐるみで脱炭素を推進し、愛媛県内で初の「脱炭素先行地域」に選定されました。CO₂削減の取り組みとして、今大会ではEV自動車、E-BIKEなどのニューモビリティを活用し、また、将来的には電動バイクなどを導入することで、車両の50%電動化を目指します。



11 住み続けられるまちづくりを

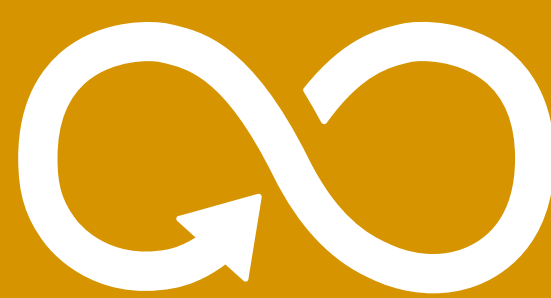


交流人口の拡大が生む地域の新たな活力を創出（住み続けられるまちづくりを）

全国のトライアスリートを「瀬戸内しまなみ海道」エリアに呼び込み、交流人口を拡大するとともに、誘客に向けた取り組みを展開することにより、瀬戸内しまなみ海道沿線地域の活性化を図ります。日本有数の景観を備える「瀬戸内しまなみ海道」の地域資源やポテンシャルを活かした魅力的なコースを全国にPRします。

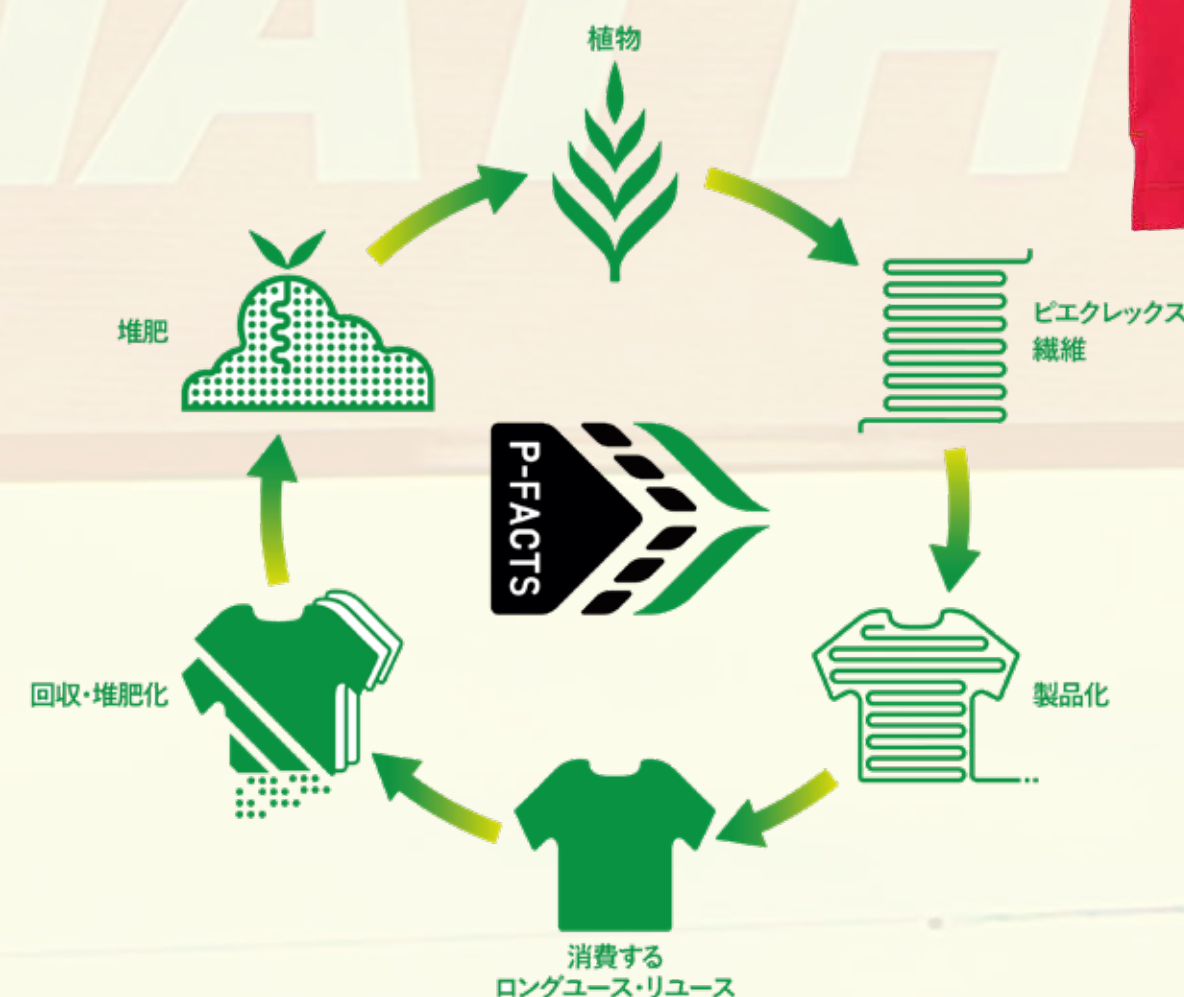


12 つくる責任 つかう責任



資源を大切に（つくる責任つかう責任）

今大会では、植物由来の素材を使用した参加記念Tシャツを採用し、CO₂排出量20%削減を目指します。使用後は堆肥化され、自然に還る循環型素材です。



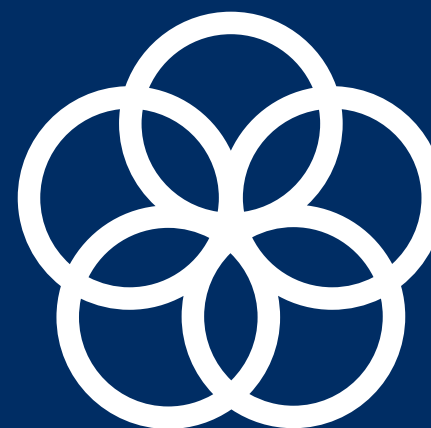
13 気候変動に具体的な対策を



脱炭素社会の実現（気候変動に具体的な対策を）

今治市では、全国に先駆けた官民連携による脱炭素社会実現に向けた画期的な取り組み「アクセルトレーニング」を行っています。アクセルトレーニングの普及により、安全運転とCO₂削減を両立し、今大会でも脱炭素への意識啓発を実施します。

17 パートナーシップで目標を達成しよう



地域が支える大会（パートナーシップで目標を達成しよう）

本大会は、地元自治会、地元企業、警察、消防、漁協、学校、一般ボランティアと連携し大会を運営しています。大会前には、「日本一きれいな島」で大会参加者や関係者をお迎えするため、地域と共に清掃活動を実施しています。

安全走行・CO₂ 排出抑制のため

アクセルトレーニング® 実施中

時速
20km/5秒
かけて発進しています

🔍 アクセルトレーナー <https://acceltrainer.jp> 株式会社 A.R.M.S.

アクセルトレーニングのメリット

1 事故削減	2 CO ₂ 排出量削減	3 燃費向上	4 踏み込むだけ
ゆっくりアクセルを踏むことで前方車両との車間距離を安定的に確保する習慣が生まれ、事故削減につながります。	運転方法を変えるだけでガソリン消費量が約11%抑制され、CO ₂ 排出量削減に貢献します。	通常の運転時に比べ、燃費消費量は5～10%削減。経費削減が期待できます。	アクセルを「踏み込むだけ・離す」という単純操作のみ。高度な技術も判断も不要です。

(株式会社A.R.M.S.より)

